

科目名		英語演習 I C(English Practice I C)								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第5学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科	学修	1 単位	必修	講義	前期	45 時間			
担 当 教 員		【常勤】 准教授 南 優次								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル		①英語構文の体系的な理解ができる。 ②テーマに沿った英会話の基本が理解できる。 ③発音やイントネーションに配慮した基本的な英会話ができる。								
到達目標 (評価項目)		優れた到達レベルの 目安		良好な到達レベルの 目安		最低限の到達レベルの 目安		未到達レベルの 目安		
到達目標 ①		英語構文に添った定型 英作文が出来る。		英語構文に添った定型 英作文を、3／4程度出 来る。		英語構文に添った定型 英作文を、3／5程度出 来る。		英語構文の概念を理解 していないため、定型文 を作成出来ない。		
到達目標 ②		テーマに添った英会話が 出来る。		テーマに添った英会話が 3／4程度出来る。		テーマに添った英会話が 3／5程度出来る。		テーマが理解できていな いため英会話が出来な い。		
到達目標 ③		発音やイントネーション に配慮した英会話が出 来る。		発音やイントネーション に配慮した英会話が、3 ／4程度出来る。		発音やイントネーション に配慮した英会話が、3 ／5程度出来る。		発音やイントネーション の原理が理解できていな いため、英会話が出来な い。		
学習・教育到達目標		(G)②		JABEE基準1(2)		(f)				
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		30	30	20		20				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎	◎	○		○				
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		○	○							
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】										

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	英語演習Ⅰ・Ⅱ
教科書	アメリカ口語教本・初級用、W.L.クラーク著、研究社刊
補助教材等	
学 習 上 の 留 意 点	
本校指定の外部資格であるTOEICの400～600、英検の準2級～2級レベルの教材である。 実践的な会話能力養成を目指すので、シャドーイングが自然にできるまで反復練習することが必要である。 また、TOEIC公式HP及び英検公式HPでは、英語学習者サポートアプリが充実している。 講義の中で、TOEIC及び英検がHP内で案内する英語学習スケジュールリングサポートページを紹介するので、本校の情報インフラを十分に活用して、TOEIC及び英検を受験する準備を効率的に進めることが必要である。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	
21世紀も15年を過ぎようとしています。そして、50年前は思いもしなかったようなことが、実現しつつあります。特に、英語で熱く実現可能な未来を語る人は、たくさんいます。英語による言語情報処理能力が優れていて、問題解決能力がある人が、明確なビジョンを持つと、人類にとって、とてもいいことを実現するということが、共通して言えそうな気がします。アラン・ケイ、スティーブン・ジョブス、ビル・ゲイツは、皆さんにとってもわかりやすいメッセージを贈っています。英語が読めれば、彼らのメッセージをすぐに理解することができます。イーロン・マスクも飛びぬけてます。日本語訳もたくさんあります。でも、ダイレクトメッセージを一度は読んで下さい。感動があるかもしれません。頑張ってください。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス・はじめに Unit 1 What's New?	シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 Let's, Shall Iの使い方を理解できる。	予習として、Unit 1のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
2	Unit 2 What's your major?	some, any, no, each, every, 否定表現の使い方を理解できる。	予習として、Unit 2のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
3	Unit 3 It's fun to play mahjong.	before, after, next, last, let, make, fun, difficult, nice, important, 否定疑問文, 定冠詞の使い方を理解できる。	予習として、Unit 3のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
4	Unit 4 A modern home	付加疑問, 複合名詞の強勢, 副詞, graduate, marryの使い方を理解できる。	予習として、Unit 4のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
5	Unit 5 Micky's home town	関係代名詞, who, home, both, tell about, like, remindの使い方を理解できる。	予習として、Unit 5のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
6	Unit 6 Two Successful Men	集合名詞, 可算・不可算名詞, news, someとany, something, anything, nothing+形容詞, rarely, seldom, neverの使い方を理解できる。	予習として、Unit 6のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
7	Review Work Unit 1～5	各UnitのセクションⅣにでてくる発音(母音, 二重母音, 流音, 摩擦音, 鼻音, 強勢, イントネーション)を理解できる。	予習として、Unit 1～5のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
8	中 間 試 験		
9	答案返却・解答解説 Lesson 1～5	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	復習として、Unit 1～5のセクションⅠ～Ⅳの概要を理解すること。
10	Unit 7 Hiking	否定疑問, 間接疑問, must be~, should, could, would, might+have+過去分詞, 動詞+on/off/upなどの使い方を理解できる。	予習として、Unit 7のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
11	Unit 8 Some interesting kinds of art	most, some, none, no, almost, speak, tell, say, talk, ask, find, move, remove, I'm sorryの使い方を理解できる。	予習として、Unit 8のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
12	Unit 9 Two kinds of Education	before, after, tell, teach, show, next door, be born, have trouble, discuss, get along withの使い方を理解できる。	予習として、Unit 9のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
13	Unit 10 A full scholarship	either, too, neither, so, then, already, yet, still, anymore, hurry, enjoy~ing, anotherの使い方を理解できる。	予習として、Unit 10のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
14	Review Work Unit 6～10	各UnitのセクションⅣにでてくる発音(歯擦音, 無声, 両唇破裂音, 強勢)を理解できる。	予習として、Unit 6～10のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	復習として、Unit 1～10のセクションⅠ～Ⅳの概要を理解すること。
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間